

## 昭和61～62年度事業記録

### Report on the Activities in Fiscal 1986-87

#### I. 特別展記録 Special Exhibitions



#### ターナー展

会期：昭和61年8月16日～10月5日

主催：国立西洋美術館，日本経済新聞，ブリティッシュ・カウンシル

出品内容：絵画51点，素描60点

(同10月14日～11月16日 京都市美術館)

#### Turner Exhibition

16 August—5 October 1986

Exhibited Works: 51 paintings and 60 drawings: 111 works in total

英国最大の風景画家であり、フランスのロマン主義や印象主義にも影響を与えたウィリアム・ターナーの展覧会。初期から晩年に至る風景画，歴史的風景画，風俗画など様々なジャンルの代表作を集めて，この画家をわが国において初めて本格的に紹介した。



### エル・グレコ展

会期：昭和61年10月18日～12月14日

主催：国立西洋美術館，東京新聞

出品内容：絵画49点

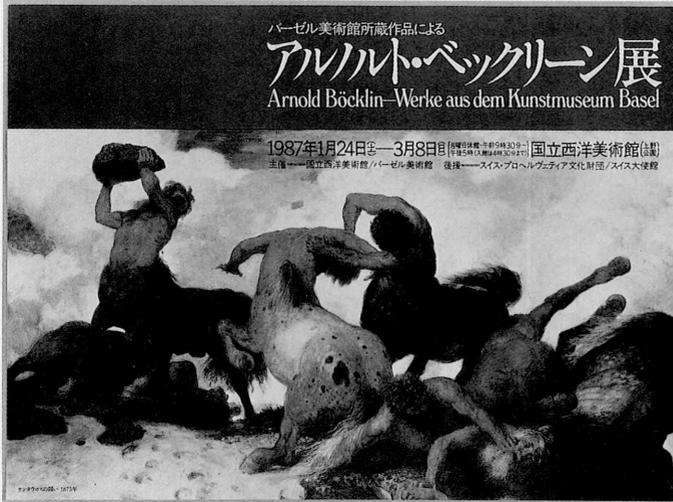
(昭和62年1月6日～3月1日 奈良県立美術館，同3月11日～3月24日 愛知県美術館)

### El Greco Exhibition

14 October—18 December 1986

Exhibited Works: 49 paintings

わが国でもよく知られたスペイン・マニエリスムの画家の日本初の展覧会。《三王礼拝》のような初期イタリア時代のイコン風の画風から，晩年の《キリストの洗礼》に見られる激しく神秘的な表現に至るまでの作品が出品され，様式の展開を示した。ブダペストと倉敷にある極めて類似した二点の《受胎告知》が展示されるなど，様々な興味深い視点が提示された。



バーゼル美術館所蔵作品による  
 アルノルト・ベックリーン展

会期：昭和62年1月24日～3月8日

主催：国立西洋美術館，バーゼル美術館

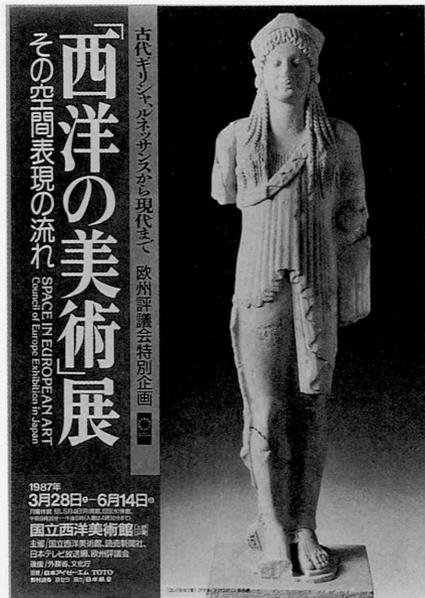
出品内容：絵画39点，素描37点，参考出品1点

Arnold Böcklin, Werke aus dem Kunstmuseum Basel

24 January—8 March 1987

Exhibited Works: 39 paintings, 37 drawings, 1 reference work: 77 works in total

19世紀後半のスイス及びドイツ絵画を代表するアルノルト・ベックリーンの展覧会。ベックリーンの最大のコレクションを擁するバーゼル美術館の全面的な協力を得て、《死の島》《ケンタウロスの闘い》《聖なる森》など、この画家の代表的な油彩画39点を含む、充実した回顧展となった。



欧州評議会特別展

西洋の美術 その空間表現の流れ

会期：昭和62年3月28日～6月14日

主催：国立西洋美術館，読売新聞社，日本テレビ放送網，欧州評議会

出品内容：絵画71点，彫刻20点，素描8点，版画8点，書籍5点，工芸8点

Space in European Art : Council of Europe Exhibition in Japan

28 March—14 June 1987

Exhibited Works : 71 Paintings, 20 Sculptures, 8 drawings, 8 prints,  
5 books, 8 craftworks : 120 works in total

美術史に於て最も基本的な問題のひとつである「空間表現」を，古代から現代に至る西洋美術の名作を通じて具体的に概観しようとする試み。ヨーロッパ21か国が参加する欧州評議会が中心となり，ヨーロッパ各地の美術館から美術史上きわめて重要な作品が出品された。当館としても規模の大きな展覧会であり，本館・新館全体を展示に当てた。またこの展覧会を機に，内外の美術史研究者を招いてシンポジウムが開催された（講演会等記録の項を参照）。



ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館所蔵  
イギリスの caricature

会期：昭和62年10月24日～12月13日

主催：国立西洋美術館

出品内容：絵画1点、素描71点、版画85点、写真1点

## The Exhibition of British Caricature from Hogarth to Hockney

24 October—13 December 1987

Exhibited Works : 1 paintings, 71 drawings, 85 prints, 1 photograph : 158 works in total

諷刺画、戯画、漫画に当たる caricature は、19世紀に盛んとなり、今世紀には、マスメディアの拡大と共に更に発展し、各時代の政治、社会、文化、風俗を照らしだしている。この展覧会では、ロンドンのヴィクトリア・アンド・アルバート美術館のコレクションによって、イギリスに於ける caricature の200年にわたる歴史を紹介した。

## 2.巡回展記録 Tour Exhibition

国立西洋美術館所蔵

マックス・クリンガー版画展

1986年4月25日～5月11日(長崎), 5月16日～25日(佐世保)

主催: 国立西洋美術館, 長崎県立美術博物館, 佐世保市

出品内容: 版画90点

### 3.講演会記録 Lectures

#### 〈ターナー展〉記念講演会

第1回 昭和61年8月16日

あらゆる気候の画家——ターナー

アンドリュウ・ウィルトン(テート・ギャラリー, ターナー・コレクション室長)

第2回 同8月30日

風景画家ターナー：ドラマとしての自然

友部 直(共立女子大学教授)

第3回 同9月6日

イギリスの絵画と文学：古典主義と浪漫主義

桜庭信之(東京教育大学名誉教授)

第4回 同9月13日

ターナーとイギリスの風景画

八重樫春樹(国立西洋美術館学芸課長)

#### 〈エル・グレコ展〉記念講演会

第1回 昭和61年11月15日

エル・グレコの祭壇衝立画

神吉敬三(上智大学教授)

第2回 同11月29日

反宗教改革期の宗教画とエル・グレコ

若桑みどり(東京芸術大学教授)

第3回 同12月6日

エル・グレコ：模倣と創造

雪山行二(国立西洋美術館主任研究官)

#### 〈アルノルト・ベックリー展〉記念講演会

第1回 昭和62年1月24日

ベックリーとその影響

クリスティアン・ゲールハール(バーゼル美術館長)

第2回 同2月28日

アルノルト・ベックリーと19世紀のドイツ美術

有川治男(国立西洋美術館主任研究官)

〈西洋の美術展〉記念シンポジウム

昭和62年4月2日～4日

発表者：前川誠郎(国立西洋美術館), 水野敬三郎(東京芸術大学), 田口栄一(東京芸術大学), 村重 寧(東京国立博物館), 戸田禎佑(東京大学), サルヴァトーレ・セッティス(ピサ高等師範学校), ヴィリバルト・ザウアーレンダー(ミュンヘン中央美術史研究所), ポール・フィリップ(ブリュッセル大学), アレッサンドロ・パロンキ(フィレンツェ大学), ジャック・テュイリエ(コレージュ・ド・フランス), リュクス・デ・フリース(フローニンゲン大学), ロバート・ローゼンブラム(ニューヨーク大学) (発表順)

主催：美術史学会, 国立西洋美術館, 読売新聞社, 日本テレビ放送網, 欧州評議会

会場：経団連会館国際会議場

〈西洋の美術展〉記念講演会

第1回 昭和62年5月9日

古代からバロック

前川誠郎(国立西洋美術館長)

第2回 同5月16日

19, 20世紀まで

八重樫春樹(国立西洋美術館学芸課長)

〈イギリスのカリカチュア展〉記念講演会

昭和62年10月24日

イギリスのカリカチュア

ライオネル・ランボーン(ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館絵画版画素描部主任研究官)

#### 4.修復記録 Restoration

所蔵作品番号／作家名・作品名／材質・寸法

---

P. 1959-69

モーリス・ドニ

《踊る女たち》

油彩, カンヴァス 147.7×78.1cm

修復前の作品状態

- I 絵具層は自然褪色し, 空中の飛散物による汚れで薄黒く変色している。
- II 画面右上部に乾燥による絵具層の大きな亀裂が, 水平に数多く生じている。
- III 画面右下部に絵具層の亀裂及び粉末状の欠損がある。

修復内容

- I 表面汚損の除去(弱アルカリ石鹼を用いる洗浄)
  - II 亀裂及び欠損部の絵具層の接着固定
  - III 麻布の張り調整
  - IV 保護ニス引き
  - V 額装の改良・額欠損部の固定
- 

P. 1987-1

ピエール・ボナール

《坐る娘と兎》

油彩, カンヴァス 96.5×43cm

修復前の作品状態

- I ニスが黄変している。
- II 絵具層に洗浄不足の汚れが固着している。
- III 部分的に絵具の剝離及び欠損が認められる。

修復内容

- I 黄変ニスの除去
- II 画面全体の追洗浄
- III 剝離部分の固定及び欠損部の充填と補彩
- IV ニス引き

---

P. 1959-105

ポール・ゴーガン

《ブルターニュ風景》

油彩, カンヴァス 89.3×116.6cm

修復前の作品状態

- I 特に青色及び赤茶色の絵具層に微細な亀裂と剥離が生じている。
- II 部分的に保護ニス欠落が認められる。

修復内容

- I 亀裂及び剥離部分の固定
  - II 部分的に保護ニス引き調整
- 

P. 1960-1

ハイム・スーティン

《狂女》

油彩, カンヴァス 96×60cm

修復前の作品状態

左側面に油脂様の多数(100個以上)の小さな付着物があって乾燥固化し、地塗り層及び絵具層を含み剥離している。

修復内容

- I 剥離部の固定
  - II 付着物を部分的に洗浄除去, 補彩, 部分ニス引き
- 

P. 1965-10

フェルナン・レジェ

《赤い鶏と青い空》

油彩, カンヴァス 65.3×92cm

修復前の作品状態

- I 黒色部に亀裂が認められる
- II 絵具層は自然褪色し、作品表面は、空中の飛散物による汚れで薄黒く変色している。

修復内容

- I 亀裂の固定
- II 表面の洗浄, ニス引き

-----  
P. 1965-6

ジャン・デュビュッフェ

《ご婦人のからだ(ぼさぼさ髪)》

油彩, セメント, 石灰, カンヴァス 116×90cm

修復前の作品状態

画面大部分を占めるセメント, 石灰の絵具層に乾燥亀裂が生じ, 絵具層が極めてもろくなっている。

修復内容

セメント, 石灰の絵具層全面に接着剤を含浸

-----

P. 1959-4

エドモン=フランソワ・アマン=ジャン

《本を読む女たち》

油彩, カンヴァス 131×98.5cm

修復前の作品状態

- I 画面が水に濡れたために生じた損傷が認められる。
  - a. 画面中央から下部へ向かう三本の白線
  - b. 画面上部から下辺部へ至る一本の強い白線
- II 古い損傷がある。
  - a. 画面右, 中央部周辺の亀裂の浮き上がり
  - b. 画面左, 中央部の引きかき傷
  - c. 保護ニス引きしていないために生じた画面全体の黒色系汚損
  - d. 下辺部張り枠と麻布との間の異物

修復内容

- I 雨水による汚損(石灰分等)の除去
- II 浮き上がり部の固定, 欠損部の充填, 補彩
- III 画面表面の経年の汚損の除去
- IV 画面全体の保護ニス引き
- V 額縁の補強

---

P. 1959-192

キース・ヴァン・ドンゲン

《カジノのホール》

油彩, カンヴァス 73×54.3cm

修復前の作品状態

画面の汚れ, 特に絵具のくぼみに付着した汚れが著しい。

修復内容

I 画面の洗浄

II 保護ニス引き

---

G. 1959-21

オーギュスト・ロダン

《ユゴー(顔二つ)》

ドライポイント 22×16cm

修復前の作品状態

全体に紙が黄変し, かび性の斑点が観察される。

修復内容

漂白, 洗浄, 紙質の中性化

---

G. 1959-20

オーギュスト・ロダン

《ユゴー》

ドライポイント 22×15cm

修復前の作品状態

全体に紙が黄変し, かび性の斑点が観察される。

修復内容

漂白, 洗浄, 紙質の中性化

---

G. 1959-23

オーギュスト・ロダン

《アントナン・プルースト》

ドライポイント 24×18cm

修復前の作品状態

全体に紙が黄変し, かび性の斑点が観察される。

修復内容

漂白, 洗浄, 紙質の中性化

[以上, 修復: 絵画修復家 河口公生]

5. 展覧会貸付作品 Works Lent Out

展覧会名／会期／会場	所蔵作品番号／作家名・作品名
<p><i>Claude Monet</i> 11 April—17 July 1986 Museo Español de Arte Contemporaneo</p>	<p>P. 1959-152 モネ《陽を浴びるポプラ並木》 P. 1965-4 モネ《セーヌ河の朝》</p>
<p>「現代日本の洋画と西洋：模倣と想像の 一世紀」 1986年8月15日～9月26日 静岡県立美術館</p>	<p>P. 1959-69 モーリス・ドニ《踊る女たち》 P. 1959-91 カロリュス＝デュラン《母と子》 P. 1959-99 ファンタン＝ラトゥール《聖アントニウスの誘惑》</p>
<p>「ルノワールと印象派の巨匠たち展」 1986年9月23日～11月23日 北海道立函館美術館 1986年11月18日～12月 福岡市美術館</p>	<p>P. 1965-4 モネ《セーヌ河の朝》 P. 1974-2 ルノワール《横たわる浴女》 P. 1975-5 ルノワール《風景の中の三人》</p>
<p>「現代の白と黒」 1986年10月5日～12月14日 埼玉県立近代美術館</p>	<p>P. 1965-8 ジャクソン・ポロック 《黒い流れ》</p>
<p>「ピカソ展」 1986年10月4日～11月3日 群馬県立近代美術館</p>	<p>P. 1974-5 ピカソ《男と女》 P. 1978-1 ピカソ《横たわる女》 G. 1977-3 ピカソ《顔》 L. 1985-1 ピカソ《ビュフォンのテキストによる「博物誌」 (4点)</p>

「セザンヌ展」 1986年10月10日～11月9日 兵庫県立近代美術館	P. 1978-5 ポール・セザンヌ《ジャ・ド・ブッフアンの眺め》 D. 1959-9 ポール・セザンヌ《勝利》 D. 1959-6 ポール・セザンヌ《水差しとスプーン入れ》
平常展 1986年10月13日～1987年3月31日 大原美術館	P. 1970-3 コロロ《ナポリの浜の思い出》
「エル・グレコ展」 1987年1月6日～3月1日 奈良県立美術館 1987年3月11日～3月24日 愛知県美術館	P. 1974-1 エル・グレコ《十字架のキリスト》
「ゴーギャン展」 1987年3月6日～5月17日 東京国立近代美術館 1987年6月12日～6月28日 愛知県美術館  *は東京会場のみ	P. 1959-104 ゴーガン《水浴の女たち》 D. 1984-1, 2 ゴーガン《ラ・マルティニック島の情景》* P. 1959-105 ゴーガン《ブルターニュ風景》 P. 1959-106 ゴーガン《海辺に立つブルターニュの二少女》*
<i>Segantini</i> 9 May—30 June 1987 Trento, Palazzo delle Albere	P. 1962-4 セガンティーニ《風笛を吹くブリアンツァの男たち》
「セザンヌ展」 1987年5月12日～6月28日 青春白樺美術館	P. 1978-5 セザンヌ《ジャ・ド・ブッフアンの眺め》
<i>Eugène Delacroix</i> 4 June—23 August 1987 Kunsthau Zürich 23 September—4 January 1988 Städtische Galerie im Stadelschen Kunstinstitut 26 February—20 April 1988 Museo del Prado	P. 1975-2 ドラクロワ《墓に運ばれるキリスト》

---

「ヨーロッパ幻想版画展」  
1987年8月6日～9月6日  
静岡県立美術館

G. 1984-1～14  
ピラネージ《牢獄》(14点)

---

「ピカソ展」  
1987年8月8日～9月2日  
北海道立函館美術館

G. 1967-2  
ピカソ《三人の女》  
G. 1977-3  
ピカソ《顔》

---

「斉藤豊作と日本の点描」  
1987年8月8日～9月30日  
埼玉県立近代美術館

P. 1959-113  
ローラン《美しい肩》  
P. 1959-127  
マルタン《花と泉水》  
P. 1959-183  
ルノワール《木かげ》

---

「ブールデル/デュフェ」展  
1987年9月12日～11月23日  
東京都庭園美術館

S. 1959-57  
ブールデル《弓を引くヘラクレス》  
S. 1959-54  
ブールデル《アナトール・フランスの胸像》

---

*Paintings by French Artists from the late  
19th to 20th Century in Japanese Collections*  
12 January—10 February 1988  
The State Pusikin Museum, Moscow  
16 February—24 March 1988  
The State Hermitage Museum, Leningrad

P. 1959-69  
ドニ《踊る女たち》  
P. 1959-192  
ドンゲン《カジノのホール》  
P. 1959-193  
ゴッホ《ぼら》  
P. 1965-4  
モネ《セーヌ河の朝》  
P. 1985-1  
ブーダン《トルーヴィルの浜》

---